

みんなの議会 おおさと

令和4年5月1日

NO.206

定例会

12月 3月

8月 8月

町花：つつじ

心 技 一 体

（大郷町剣道スポーツ少年団）



- P. 2 令和4年度予算
- P. 4 徹底検証
- P.12 一般質問
- P.20 第1回臨時会
- P.23 追跡リポート

災害復興・子育て支援等 51億3000万円

令和4年度 一般会計予算



災害復興関連事業

- 中粕川防災避難緑地敷地造成工事 1億3841万円
- 防災コミュニティセンター建築設計業務 2420万円
- 浸水区域かさ上げ工事等補助 800万円
- 被災住宅再建支援金 2000万円
- 町管理河川緊急浚渫事業 6226万円



子育て応援・教育関連

- 小・中学校外壁等修繕工事 2億7275万円
- 保育事業負担金 1億9645万円
- 小・中学校給食費・認定こども園主食費等無償化 4022万円
- 通園バス運行補助金（認定こども園） 1518万円
- 小・中学校スクールバス運行業務 4226万円
- 子育て医療費助成（0～18歳まで） 2725万円



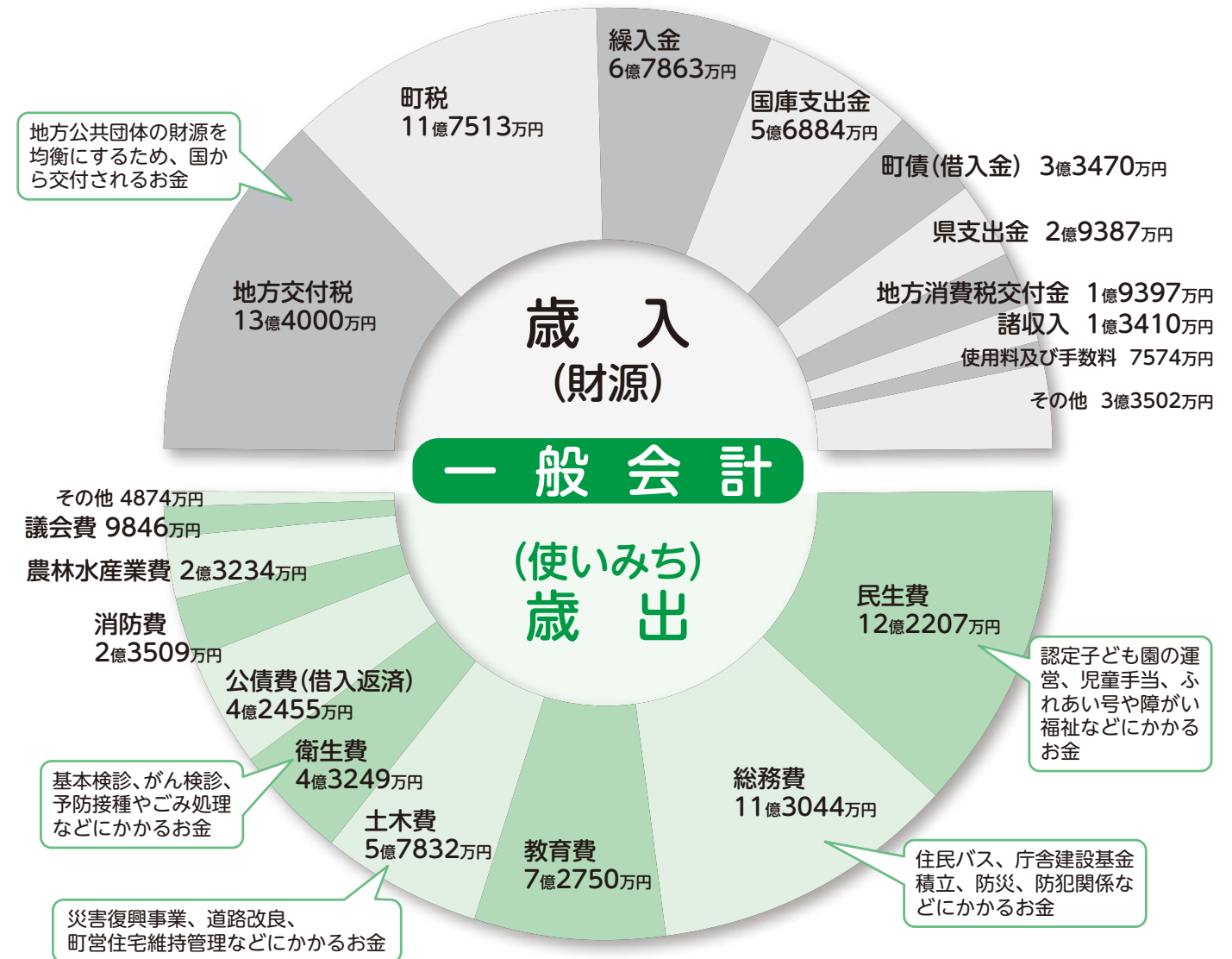
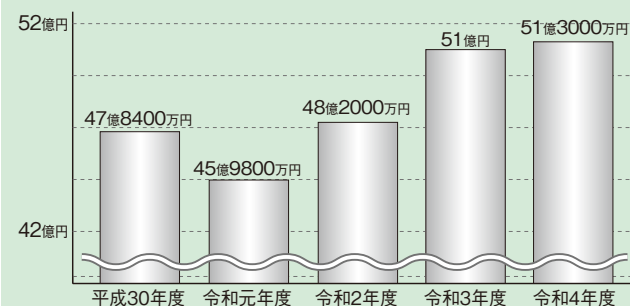
生活環境支援関連

- 高齢者の外出支援事業「ふれあい号」 583万円
- 住民バス指定管理料・公金徴収業務 4028万円
- ごみ収集・焼却処理 1億3070万円
- 町道維持・新設改良費 6797万円

移住定住促進関連

- 地域おこし協力隊関連費用 1256万円
- 若者及び子育て世帯定住促進奨励金（固定資産税相当額助成） 678万円
- 子育て世代住宅取得費助成 520万円

一般会計予算（当初）の推移



特別会計・事業会計予算（対前年比）

国民健康保険	介護保険	後期高齢者医療	下水道事業
9億899万円 (1331万円増)	11億284万円 (4300万円増)	9264万円 (962万円増)	2億2366万円 (2543万円減)
農業集落排水事業	戸別合併処理浄化槽	宅地分譲事業	水道事業会計
5609万円 (190万円増)	6972万円 (265万円増)	1億2847万円 (1億2843万円減)	収益的支出 2億2906万円 (345万円減)
			資本的支出 1億3793万円 (1億3355万円減)

一般会計・特別会計・水道事業会計予算 徹底検証

予算審査

令和4年度の予算を詳細に審査するため、予算審査特別委員会を設置し、6日間にわたり各課ごとに質疑応答を行い、慎重審議・検証しました。

本会議では委員会審査報告の後、採択し、一般会計及び各種会計を可決しました。



佐藤 牧 副委員長



熱海 文義 委員長

予算審査



▲早期分譲を（中村原地区）

中村原地区の宅地分譲

問 今後の分譲予定は。
答 被災者の方を優先に、4月から一般向けも募集する。

歴史民俗資料

問 新たな場所に展示する考えは。
答 歴史民俗資料館準備委員会です。



▲田植踊のお披露目（手田植）

緊急浚渫工事

問 予定箇所は。
答 安戸川の浚渫工事、味明川の浚渫設計業務を予定している。

町指定無形文化財

問 後継者育成を。
答 「羽生田植踊」については中学校や児童館で練習し後継者育成に取り組んでいる。新たに衣装代の支援をする。

通学路危険ブロック塀

問 解消を進めてほしい。
答 昨年12月に県と合同で高危険度のものは全箇所調査した。改善の依頼文書も出させていただいている。

石綿セメント管更新

問 更新予定は。
答 残り8キロメートル。令和4年度は500メートル実施予定。

児童館防犯カメラ

問 何基設置するのか。
答 子どもたちの安全を守るため、3基設置する。

消防団員確保

問 消防団員が定員割れになっているが、新たな方策が必要では。
答 LINE、ホームページを活用するなど、より一層勧誘に努めていきたい。

学力向上

問 どのような対応をしているのか。
答 校内研修と県から指定を受けて、指導主事を招き、先生方の指導力向上を図っている。

図書購入

問 どの年代向けに購入しているのか。
答 児童書と一般書と半々くらいで、より多くの方の要望に沿えるように心がけている。

心のケアハウス

問 新たな活動目標は。
答 校外での体験活動の計画を検討している。

地域活性化起業人

問 内容は。
答 観光振興や地場産品の開発等の活動をし、地域の課題解決を図る。現在は縁の郷でシェフをしているが、さらに1名の増員を予定。

婚活イベント

問 参加者を増やす工夫を。
答 参加しやすい開催時期や周知方法を検討する。

太陽光発電施設

問 保健センター前、発電施設の貸付収入はどうなっているのか。
答 「新電力㈱」との協定に基づいているので、貸付収入は入らない。

補聴器購入助成

問 助成内容は。
答 65歳以上で医療機関の証明を添付し、町へ申請する。2分の1の助成で、上限3万円。

各種検診

問 受診率向上の新たな取り組みは。
答 土曜日の午後と水曜日の夜間を全地区対象とすることで、がん検診と特定検診の受診率向上を図りたい。



▲いつも清潔に（支倉常長メモリアルパーク）



▲防犯カメラで安全確保（児童館）

町当局へ21項目の意見を提言

予算審査特別委員会で6日間審議し、現地調査を踏まえ、21項目の意見を町当局へ提言した。



▲早期完了を（中粕川）



復興復旧の早期完了

復興まちづくり事業の早期完了に向けて取り組まれない。

- 問** 水害からの早期の復旧復興を。
答 計画的に実行していく。



交通安全施設の整備

交通安全施設の整備を図り、交通安全対策を進められたい。



職員のスキルアップ

職員研修の一層の充実を図られたい。



ごみの減量化

ごみ削減のための周知を徹底し、減量化を図られたい。



▲ごみを減らしましょう



計画的な浚渫工事

河川の浚渫工事について、計画的に取り組まれない。

- 問** 早急な内水対策を。
答 支障物の撤去等、やれることから対応していきたい。



協力隊と町おこし

地域おこし協力隊の目的を果たせるよう工夫されたい。

- 問** 定住のための支援は。
答 定期的にミーティングを行い、不安面や将来のことについて全面的にサポートを行う。



政策審議会を活かす工夫

政策審議会は諮問機関としての機能を活かし、町政の進展に努められたい。

- 問** 審議会の意見を政策に反映させるべきでは。
答 重要な政策課題のたびに開催したい。



▲利用が少ない物産館2階和室



物産館2階の活用

物産館2階の有効活用を早期に図られたい。

- 問** 有効活用を図られたい。
答 各種団体に活用してもらっているが、再度利用について検討していく。



開発センター利活用

開発センターの利用促進に努められたい。

- 問** 活用方法の徹底を。
答 機械の使用や環境整備等についてしっかり対応できるよう公社と協議している。



返礼品の工夫

ふるさと納税返礼品の充実を図られたい。

- 問** 返礼品の新たな商品開発が必要では。
答 新たに羊肉を扱う業者ができ、今後もさらなる充実を図っていきたい。



交通機関の改善

公共交通機関の利便性向上を図られたい。

- 問** 住民バスもスクールバスと一緒に改善するはずだったのでは。
答 スクールバスの時間調整が難しい、経費増になるため今回は見合わせる。



公社の経営改善

(株)おおさと地域振興公社経営の改善に努められたい。

- 問** 運営改善委員会の開催回数を増やし経営改善を。
答 建設的な意見をいただいている。もう1回ほど増やせればという思いである。



新たな特産品開発

新たな町の特産品開発に取り組まれない。

- 問** 特産品開発のための一層の取り組みを。
答 6次化から販売までつなげていけるように推進していきたい。

災害公営住宅 4年度完成

一般会計補正予算（第13・14号）は、中村原地区・災害公営住宅建設費増となったが、令和3年度事業費確定による大幅減額により、1億2531万円減額となり、歳入歳出それぞれ58億1268万円となった。

町道補修工事
場所。鶴田横沢線の側溝土砂撤去工事、味明地区の広畑天神原線道路補修工事の2カ所である。

希望の丘団地外壁修繕
8653万円減額の理由は、当初予定していた工法から安価であるフッ素塗装での対応が可能となったため。

国民健康保険
療養給付費が4700万円増額となっているが、1カ月当たり5500万円を見込んでいるが、循環器系疾患が増えているため。

1億7384万円

中村原地区・災害公営住宅建設工事等



4棟9戸分・令和5年2月完成予定

議案第19号 消防団条例の一部改正

消防団員報酬の改正



▲有事に備えて（消防演習）

報酬額（年額）

階級	改正前	改正後(案)
班長	38,000円	40,000円
団員	34,000円	36,500円

※他の階級（機能別団員含む）の年額報酬額は現状維持とする。

災害出動報酬額（出動1回当たり）

改正前			改正後(案)		
名称	4時間未満	4時間以上	名称	4時間未満	4時間以上
—	—	—	水・火災・その他災害の職務に従事した場合	4,000円	8,000円

※機能別団員の出動報酬額は据え置きとする。

問 班長で年額20000円のアップだが、消防庁ではもっと高額な報酬支援を考えていたのでは。

答 消防庁の考えは、全国的な考え方、市町村によって現在の団員の報酬額に差がある。

【議案第4号】 犯罪被害者等支援条例の制定

犯罪被害者等の被害の早期回復及び軽減をはかるとともに、安心して暮らすことのできる地域社会の実現に寄与することを目的とし制定する。

- 犯罪被害者支援金等
- 遺族資金
- 傷害支援金 10万円
- 死体検案費用支援金（死体検案に要した費用） 上限10万円

【議案第14号】 公民館の設置及び管理に関する条例の一部改正

- 中央公民館の設置位置及び中央公民館所管分の施設使用料についての一部改正
- 施設使用料 1時間当たり
- ・多目的研修室 1500円
- ・会議室 1500円
- 冷暖房料 1時間当たり 300円

推進

国民健康保険特別会計

受診率向上のための周知を徹底されたい。

推進

受診率の向上

各種検診の受診率向上に努められたい。

推進

水道事業会計

石綿セメント管更新の早期完成と有収率の向上に努められたい。

育成

無形文化財の伝承

無形文化財について、後継者の育成を継続して努められたい。

推進

下水道事業特別会計 農業集落排水事業特別会計 戸別合併処理浄化槽特別会計

加入促進を図り、水洗化率の向上に努められたい。

強化

子どもたちの安全

子どもたちの安心を守るために、学校施設等の管理体制の強化を図られたい。

問 安心・安全に通学できる環境の拡充を。
答 今後も毎年保護者から情報収集し、1カ所ずつ点検活動を行いたい。

一 討 論

一般会計

反対 大友三男議員

町全体の福祉向上に努めよ

災害復興事業として危険地域に防災拠点施設をつくることは、通常では考えられない。町民全体の福祉向上に努めるべき。

施政方針の中でドローン活用特区や地域再生計画のかわまちづくり事業などにより、地方債などの増加が見込まれる。将来、町民負担とならないよう要求し反対とする。

反対 千葉勇治議員

予算が伴わない施政方針

施政方針に地域再生計画、里山プロジェクトなど、5本柱として案があるが、今回の予算にない。農業の担い手、地域の継承の支援が見られない予算だ。

賛成 佐藤 牧議員

復興への効果的予算

施政方針の内容と予算の内容が一致している。復興まちづくり事業では、中粕川防災コミュニティセンターの建築設計業務や防災避難緑地の敷地造成工事が予定されている。効果的な使い方を熟慮した内容であると判断し賛成する。

賛成 石垣 正博議員

交流と活性化へ

道の駅を拠点とし、交流人口の増加と町全体の活性化を図る予算である。住民参加を前提に、町の資源、文化、自然等を活用していただきたいと期待し賛成する。

議案採決結果一覧表

分類	議案名 (略称)	採決結果	吉田耕太	佐藤牧	赤間茂幸	大友三男	佐藤千加雄	田中みつ子	熱海文義	石川壽和	和賀直義	高橋重信	石垣正博	千葉勇治	若生寛	石川良彦
第1回定例会	P9-10 議案第4~5号・議案第7~17号・議案第19~22号	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第6号・議案第18号	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	-
	P20 委発第1号 大郷町議会委員会条例の一部改正について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議発第1号 ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に抗議する決議案	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	補正予算															
	一般会計(第13号) 58億1190万円(1億2531万円↓)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	特別会計															
	国民健康保険(第4号) 9億6032万円(4830万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	介護保険(第3号) 10億8348万円(1141万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	後期高齢者医療(第2号) 8476万円(126万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和4年度当初予算	下水道事業(第3号) 2億5901万円(214万円↓)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	農業集落排水事業(第3号) 5601万円(7万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	戸別合併処理浄化槽(第4号) 7228万円(112万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	宅地分譲事業(第4号) 4億5579万円(7304万円↓)	可	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	P9 水道事業会計(第4号) ①収益的支出:2億4229万円(467万円↑) ②資本的支出:2億8661万円(307万円↓)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	一般会計(第14号) 58億1268万円(78万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	特別会計															
	国民健康保険	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	介護保険	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	後期高齢者医療	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第1回臨時議会 P20	下水道事業	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	農業集落排水事業	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	戸別合併処理浄化槽	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	宅地分譲事業	可	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	P2-8 水道事業会計	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	報告第1号 専決処分の報告について															
	補正予算															
	一般会計(第11号) 59億3456万円(4595万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	一般会計(第12号) 59億3721万円(265万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	水道事業会計(第3号) 収益的支出:2億3763万円(439万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

お詫び 令和4年2月1日発行「みんなの議会おおさとNo.205号」に掲載した採決結果一覧表に誤りがありました。内容を訂正し、お詫び申し上げます。

誤	第4回定例会	補正予算	特別会計	戸別合併処理浄化槽 7116万円(77万円↑)	可	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	-
				宅地分譲事業 5億2883万円(1414万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
正	第4回定例会	補正予算	特別会計	戸別合併処理浄化槽 7116万円(77万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
				宅地分譲事業 5億2883万円(1414万円↑)	可	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	-

(↑)は増額、(↓)は減額 可:可決 否:否決 ○:賛成 ●:反対 退:退席 欠:欠席 ※可否同数でない限り、議長(石川良彦)は採決に加わらない。

ただ 8名が町政を質す!



【議案第8号】 議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
【議案第9号】 特別職の職員で常勤の者の給与及び旅費に関する条例の一部改正

区分	6月分	12月分
令和3年度	1.675月(支給済み)	1.675月(支給済み)
令和4年度以降	1.625月	1.625月
令和4年度のみ	1.525月(1.625月-0.1月)	1.625月



▲すこやかに子育てを

納税額の比較表(未就学児に係る均等割)
(単位:円/1人当たり)

世帯区分	改正前		合計
	一般	後期	
7割軽減	6,900	2,550	9,450
5割軽減	11,500	4,250	15,750
2割軽減	18,400	6,800	25,200
通常	23,000	8,500	31,500

↓

世帯区分	改正後		合計
	一般	後期	
7割軽減	3,450	1,275	4,725
5割軽減	5,750	2,125	7,875
2割軽減	9,200	3,400	12,600
通常	11,500	4,250	15,750

【議案第11号】 国民健康保険税条例の一部改正
国民健康保険に加入する全世帯のうち、未就学児に係る均等割保険料について、その5割を軽減し、子育て世帯の経済的負担を軽減する。

- 議案第5号 課設置条例の一部改正
「復興定住推進課」を「復興推進課」に改正。
- 議案第6号 個人情報保護条例の一部改正
「行政機関の保有する個人情報の保護に関する法」は廃止され、「個人情報保護法」に統一されることから、引用条文を改正する。
- 議案第7号 職員の育児休業等に関する条例の一部改正
議案第10号 職員の給与に関する条例の一部改正
令和3年人事院勧告による給与改定等の実施に基づき、期末手当を0.15月分引き下げ年2.4月とする。
- 議案第12号 教育支援審議会条例の一部改正
会議の招集に時間的猶予がない場合に会長が先決し、審議会に勧告することができるようにする。
- 議案第13号 奨学金貸与条例の一部改正
収入減となった方を対象に最長3年間返還期間を延長できるように改正する。
- 議案第15号 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
- 議案第16号 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する条例の一部改正
- 議案第17号 開発センターの設置及び管理に関する条例の一部改正
- 議案第18号 下水道条例の一部改正
- 議案第20号 ごみ処理場設置及び管理条例の一部改正
- 議案第21号 宮城県との間の災害弔慰金等の支給に関する審査会の事務委託の廃止
- 議案第22号 他の普通地方公共団体の公の施設を住民が利用することについて



いし がき まさ ひろ 議員
石垣 正博

古民家再生による地域活性化を

大切な地域資源として活用する(町長)

問 旧櫻井家を古民家再生による地域創生活活性化の拠点と、地域観光拠点の「道の駅」をつなぐ構想があるが、人の流れをどのようにするののか。

答 町長 大切な地域資源として活用するため、地域再生計画の策定に着手した。その計画を基に、本町の観光振興戦略における重要拠点として検討を進めていく。

問 財政内訳は。

答 町長 財源については、過疎市町村に指定されることにより、国の補助金や起債の面で有効な点があるのを検討する。

問 道の駅から郷郷ランド・旧櫻井家までの道を整備するのは、過疎対策事業債を活用できるのか。

答 まちづくり政策課長 過疎計画のほうに盛り込む

過疎指定後のまちづくりは

計画を策定し、実施していく(町長)

問 人口減少率や財政力指数を基に大郷町が過疎地域に指定を受ける。国は地方交付税を充てる過疎債で手厚く財政支援する。全国過疎の市町村は885自治体であり全体の51・5%である。令和4年度の地方債計画では5200億円を計上している。過疎指定を受けた後のまちづくりのグランドデザインは。

答 町長 「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」に基づき、人口減少や財政力指数の要件を満たす市町村を「過疎地域」とし、公示は4月の予定となる。指定後「大郷町過疎地域持続的発展計画」を策定して事業を実施していく。



たか はし しげ のぶ 議員
高橋 重信

今後の復興再生まちづくりは

問 令和4年度以降の復興再生まちづくりはどのような設計になるのか伺う。

答 町長 中粕川まちづくり事業は令和3年度中に避難路などの防災施設の設計が終わる。令和4年度は防災コミュニティセンター建築設計の発注予定であり、本格的な中粕川地区の都市防災事業に着手する計画である。

けやき坂ガーデンにスクールバスを

問 「けやき坂ガーデンおさと」の分譲地29区画のうち28区画が販売された。25世帯が町外からの若い世帯である。転居されてきた方からスクールバスが欲しいとの要望がある。「けやき坂ガーデン」の子どもたちもスクールバスに乗車できないのか。

答 教育長 スクールバス運行は、冬場の安全性も考慮し、団地入口に乗車できるスペースの確保が必要と

で、その中での事業であれば活用できる。

問 道の駅から旧櫻井家までの道に、花または花木を植栽して花道通りをつくってはどうか。また、道沿いに茶屋をつくる考えは。

答 町長 まだはっきりしていないので、今後あの一帯をそういう雰囲気が出るといえるような内容にしていきたい。

問 まちづくり政策課長 まだその場所については、具体的な案は出ていないが、地域の方も含め、いろんな世代の方からご意見などもいただきながら、計画をまとめていく。

問 中村原地区分譲地について、地域に合った名称が必要では。

答 町長 地域再生計画の策定中であり、歴史資料館を含めた古民家の活用方法が明確になった時点で、町の地域活性化対策のシンボルにふさわしい名称を検討していく。



▲古民家を活かし地域再生を(中村の旧櫻井家)



▲災害公営住宅予定地(中村原地区)

なる。県道を横断しなくても安全に通学できるよう、歩道の早急な整備を県に要望してきた。県の回答を踏まえて、早期に対応できるように検討する。

空き店舗対策を

問 中村原地区の南は門前町の様相を呈しているが、活性化の考えは。

答 町長 歴史的な観光資源の1つとして、来町される方に足を伸ばしてもらえようPRしていく。

問 小さい店舗など空き店舗対策をすべきでは。

答 まちづくり政策課長 小さなカフェ・パン屋さんとか若い人たちの集客につながるような地域の再生を行っていかねばと思っています。



よし だ ひろ やす 大 議員
吉田 耕大

小・中学生の視力低下防止を

健康上の配慮を徹底する（教育長）

問 小・中学校でのタブレット端末活用について、近年視力低下している児童が増えてきているが、ブルーライトカット眼鏡や防護フィルム支給の考えは。

答 教育長 タブレット端末の使用にあたっては、使用時間の制限やこまめに休憩時間を設けるなど、健康上の配慮を徹底し、活用していく。ブルーライトカット眼鏡やフィルムの支給については、使用状況を見ながら検討していく。

問 ほかの自治体では、新型コロナウイルス対策として、タブレット端末を持ち帰り、宿題などを行っている。いつ頃から開始となるのか。

答 教育長 本町では12月から開始し、小学校で3回ほど、中学校で8回ほど持

太陽光発電設置の経緯は

災害対応や経費節減のため（町長）

問 保健センター前駐車場、文化会館、大郷小・中学校に太陽光発電施設を設置した経緯は。

答 町長 「新電力株式会社」が主体となる共同事業で、国の補助事業を活用し、災害時の電力供給や財政負担軽減のためである。

問 保健センター前駐車場利用に支障がないよう、2階づくりのカーポートタイプで設置との説明だったが、駐車場利用ができない平面タイプに変更設置されている。議会に対し、なぜ変更前の事前説明をしなかったのか。

答 町長 議決要件ではないが、道義的な配慮に欠けていたことをお詫びする。今後このようなことがないよう指導・監督を徹底していく。



おお とも みつ お 議員
大友 三男

入札監視委員会設置を

問 公金を預かる行政の責任として、公平公正で透明性のある入札を行うため、入札監視委員会の設置が必要では。

答 町長 県内で設置している他の自治体の導入状況を検証し、設置の可否について検討したい。

問 塩釜市の入札担当者は、外部からの監視が必要と考え、2月定例議会に関連議案提出すると、河北新聞に掲載されていたが、入札担当者としての考えは。

答 財政課長 監視委員会設置の要請があるかどうか、再度検討していきたい。

移住定住者に支援を

問 小・中学生が学期途中で転入してきた場合、本町で決められた運動着を新たに購入することを強いられることになる。転入生にも小・中新1年生入学時と同じように、運動着の無償支援を行うべきと考えるが。

答 町長 経済的負担軽減の観点から、希望者に対し

一般質問

て運動着の支援を、令和4年度から実施する。

問 使用しなくなった中学生の制服を、有効活用するため、「おさがり制度」を作るべきでは。

答 町長 行政として制度化に向けた考えはない。

問 学校などを窓口にすることで、移住してきたばかりで、本町住民とのつながりがすぐできず、どこにも頼みようがない中学生のいる世帯の支援になると考えるが。

答 学校教育課長 校長先生を通して、PTAに相談したい。



▲太陽光設置で利用できなくなった駐車場（保健センター前）

商品券の新たな販売方法を

問 商品券購入の公平性が保たれているのか。

答 町長 今年度は全世帯に引換券付きチラシを配布し、希望者に対して販売している中で、公平性は確保できている。

問 今後同様の方法で行っていくのか。

答 農政商工課長 商工会との連携の中で、全世帯が公平に買える状況を残した



▲ブルーライトカット眼鏡等の対策を

上で、協議を進められればと思う。

問 電子マネーなどの移行・併用の考えは。

答 町長 本町では、電子マネーに対応している事業者が多くない状況である。利用者の需要や将来性も含め、商工会と連携し、電子



ひろし 議員
わこ 若生

6 次 産 業 の 育 成 は

商品開発などの支援を考える(町長)

問 6次産業の育成をどうするのか。

答 町長 生産だけでなく6次産業化により、高付加価値化することで農家の収益につながる。商品開発、販売マーケティング事業などへの支援を講じる。

問 補助金の申請方法の簡素化はできないか。

答 農政商工課長 税金を使つての補助金であり、厳正な審査が必要である。最低限必要な書類の提出をお願いしている。

問 マーケティング事業の詳細は。

答 農政商工課長 農業振興総合補助金の中の1つのメニューとして組み込んでいる。プロモーション事業、販路拡大事業、IT化事業、ブランド化などの支援がある。なかなか利用されてい

ないが、より一層PRしながら利用を促していく。

問 商品開発は継続性が必要では。

答 農政商工課長 農産加工連絡協議会、物産開発研究会等で様々な試行錯誤をしている。コロナ禍で活動は制限されているが令和4年度は商品化を目指している。

農業法人化の進み具合は

問 法人化の進み具合は。

答 町長 5年間で9法人が増えている。

問 儲かる農業のための環境整備は。

答 町長 自分の農業をどう捉えているかがベースとなると思う。米を作る人、野菜を作る人、畜産をやる人が一緒に頑張って農業法人として進んでいくことが望ましい。

問 高齢化を踏まえ後継者問題と労働力をどうするか。

答 町長 地域の担い手として、安定的な経営を継続していくための手段として法人化が進んでいる。また、就農希望者を受け入れるた



▲とてもおいしい加工品(道の駅)

めの体制を整えていく。

問 農業を成長産業と捉えた成果は。

答 町長 着実に農業法人の大規模化、機械化が進み、また、新たな高収益作物への取り組みも進んでいてい

る。今後は、大区画は場整備事業が進み、スマート農業化による高効率化成長を促進できるものと考えている。



なほよし 議員
わが 和賀

健康な町づくりの重点施策は

検診の受診率向上に工夫(町長)

問 施政方針「町民が安心して暮らせる健康な町」について、重点とする新規事業は。

答 町長 子宮頸がん検診の受診率向上、がん等の早期発見・早期治療を目的に※HPV検査を実施する。病気の回復期にある乳幼児及び児童の病後児保育事業を4月より開始する。

問 新規事業のがん患者用医療用ウィッグと乳房補正具の助成の内容は。

答 保健福祉課長 上限を2万円としている。

問 視覚検査屈折検査機器の導入の目的は。

答 保健福祉課長 3歳児検診で早期発見、早期治療につなげる。

※子宮頸がんに関りのあるウイルスの有無の検査

一般質問

教育のさらなる充実を

問 重点とする事業と課題は。

答 教育長 「行きたくなる学校づくり事業」である。わかる授業づくり、楽しく生活できる居場所づくり、さまざまな活動を通じた絆づくりに取り組む。

問 課題は、不登校の出現率が高いこと。「行きたくなる学校づくり事業」は不登校の未然防止の取り組みになり、学校と教育委員会の共通理解を図りながら推進に努める。

問 2学期制への移行のメリットは。

答 教育長 学校行事の効率化で先生方に時間的なゆとりができ、児童生徒へのきめ細かな指導につながる。新型コロナウイルス感染症の影響で実質2学期制になっているが、令和4年度から正式に移行する。

問 3回目のワクチン接種状況と保育所、学校等の感染予防対策は。

答 町長 2月24日現在で



▲早期発見・早期回復へ

接種対象者対比で40・6%となっている。新型コロナウイルス感染症ガイドラインや教育委員会等からの各種通知に基づき、対策を実施している。

問 感染を心配している人の検査体制の整備や感染防止策の一層の呼びかけが必要では。

答 町長 県が無料検査センターを順次開設している

ので、利用してほしい。一層の呼びかけについてはホームページへの掲載、防災無線で注意喚起を行っている。

問 「発熱時の対応について」ホームページのトップ画面に誰が見ても分かるように表示しては。

答 町長 分かりやすい表示内容となるよう改善しながら更新していく。



ちば ゆうじ 千葉 勇治 議員

「男女共同参画基本計画」は

令和4年度から策定する(町長)

問 女性の地位向上等を目的に国が1999年に「男女共同参画基本法」を制定し、23年目を迎える。全国の69・4%の町村が計画策定済みだが本町の実態は。

答 町長 令和4年度から2か年の予定で業務委託し策定する。本町の課題を的確に捉え、地域の特性に応じた施策を進めていく。

問 「男女共同参画基本法」はもっと女性の声を取り入れ、町・地域づくりに活性化をとの趣旨と考える。町はもっと本腰を入れて対応を。

答 町長 今年度から男女共同参画型社会に適応した大郷町役場になるように議論を深め時代に即した方針を構築していきたい。

アレルギーの子にも給食費同等の補填を

問 食物アレルギーや食文化の違いで、弁当を持参する子どもの保護者に学校給食費同等の金額を補填するべきでは。

答 町長 アレルギーのある児童生徒にも食べられるものはできるだけ食べてもらえるように給食の提供を

町の政策方針決定に係る委員会への女性登用比率			
各種委員会等	令和3年4月1日現在		
	総数	うち女性登用数	構成割合
大郷町防災会議	19	2	10.5%
民生委員推薦会	7	1	14.3%
国民健康保険運営に関する協議会	9	1	11.1%
社会教育委員会	10	3	30.0%
スポーツ推進審議会	5	1	20.0%
地方文化財保護審議会	4	0	0.0%
情報公開審査会	5	0	0.0%
個人情報保護審議会	5	0	0.0%
政策審議会	22	3	13.6%
教育支援審議会	9	7	77.8%
学校給食センター運営委員会	7	2	28.6%
奨学資金対応選考委員会	9	3	33.3%
介護保険運営委員会	9	1	11.1%
都市計画審議会	8	0	0.0%
上水道運営審議会	8	2	25.0%
食育推進会議	12	6	50.0%
小計	148	32	21.6%
教育委員会	4	1	25.0%
選挙管理委員会	4	0	0.0%
監査委員会	2	0	0.0%
農業委員会	11	2	18.2%
固定資産評価審査委員	3	0	0.0%
小計	24	3	12.5%
合計	172	35	20.3%

続けている。今後もどのような対応ができるのか検討していく。なお、現在は給食が全部停止になっている児童生徒はいない。

安心・安全が保障される開発行為を

問 定住化構想の中で、宅地造成に係る開発が申請された際、そこに暮らす住民

生活の安全・安心が担保されるものが最低限求められるものと考えている。

答 町長 災害への備えや近隣地域との接続も含め、開発地にいずれ住まわれる方の安全や利便性についても十分に留意した上で指導していきたい。

(株)村上農園の進捗状況は

年内出荷を目標としている(町長)

問 待望の工事が着工した「(株)村上農園」の進捗状況と見通しは。

答 町長 1月20日に盛土工事が始まり2月中旬に基礎工事に着手した。今後、ハウス本体や給排水工事、試運転を行い、8月末竣工予定。年内中の初出荷を目標としている。

問 今の状況から見て、8月末の竣工予定で大丈夫なのか。

答 農政商工課長 事業の打ち合わせの中で、8月竣工の計画で進めているが、変更の場合は報告する。

(株)東北アグリヒトは

問 事業開始に向けて、工事が進められている「(株)東北アグリヒト」の進捗状況と雇用の見通しは。



いしかわ とし 石川 寿和 議員

答 町長 今年5月竣工予定で、6月操業開始を目標にしている。雇用は、外国人就労者十数名を含む90名程度を見込んでいる。

問 雇用等について町にどんな問い合わせがあるのか。

答 農政商工課長 外国人就労者の住居について、空き家を3軒くらいとの話をいただいているので、これから(株)東北アグリヒトに提案していきたい。

社会教育 体育館の修繕をセンター

問 以前から、屋根の雨漏りが指摘されているが、どう把握し対応していくのか。

答 教育長 現地調査により雨漏り箇所の確認作業をして、今後、応急処置で対応する予定である。

問 現地確認の状況はどのようなになっているのか。

答 社会教育課長 内部から天井の状況を確認している。屋根の上は構造上左右からの雪が積積して、日当たりが悪く残っている状態である。安全上、確認作業は状況を見て行うという調整をしている。

一般質問

認定こども園との連携は

問 「町の教育方針」に幼児教育については、「認定こども園との連携」とだけ記されている。町は園の方針と擦り合わせ、小・中学校同様に町の教育方針として打ち出すべきと考えるが。

答 教育長 大郷町教育基本方針を定める際、こども

園側の意見等を聴取し、改訂を行った。園長・校長による定期的な会議等による情報の共有、指導主事による助言で連携強化に努め、側面から支援していく。

問 園と擦り合わせして教育要覧に明記しては。

答 教育長 関係者と検討させていただく。



▲待望の工事着工(大松沢の株式会社村上農園)

全会一致で可決

【議発第1号】

ロシアによるウクライナへの 軍事侵攻に抗議する決議

【内容】（抜粋）

ロシアは、2月24日以来、隣国ウクライナに軍事侵攻を続けている。この軍事侵攻は、明らかにウクライナの主権及び領土の一体性を侵害し、武力行使を禁ずる国際法の深刻な違反であり、国連憲章の重大な違反である。

ロシア政府が軍による攻撃を即時かつ無条件に停止し、ウクライナ全土から撤退するよう強く求めるとともに、平和の回復に向けて国際法に則った誠意ある対処をするよう、強く求める。

令和4年3月16日
大郷町議会

【委発第1号】

大郷町議会委員会条例の一部改正

【内容】

町の課設置条例の一部改正に伴い、総務産業常任委員会所管事項の「復興定住推進課」を「復興推進課」に改める。

リニューアルする 道の駅外トイレ

第1回 臨時会

1月31日（月）



▲道の駅外トイレ

一般会計補正予算

ウエブ会議等の環境整備、水道料コンビニ収納のシステム導入、原油高騰特別対策交付金支給等、4859万6000円を追加し、歳入歳出それぞれ59億3721万2000円となった。

問 道の駅外トイレ改修の内容は。
答 老朽化が進んでいるので、全体的に明るく補修、改善を行う。便座は温水洗浄便座にする。

問 暖房施設を有する施設園芸農家に原油高騰対策交付金を支給するとのことだが、対象件数は。
答 個人5件、法人1件を想定している。

問 畜産農家も餌代が上がっているので支援できないか。
答 農協にも協力してもらい情報収集をする。



専決処分報告

中村原地区宅地造成工事の契約金額を499万2900円増額し、1億4799万2900円となった。

【理由】
根交じり不良土が確認されたので、良質土に変更、安全確保を考慮し側溝のふたを設置。

専決処分とは
本来、議会の議決・決定を経なければならない事項を、地方公共団体の長が地方自治法の規定に基づいて、議会の議決・決定の前に自ら処理することです。

議会の主な動き（1/1～3/31）			
月 日	用 務	月 日	用 務
1/5	広報広聴常任委員会	2/24	議会改革調査特別委員会（議会基本条例に関する調査分科会）
1/14	広報広聴常任委員会・宮城県町村議会議長会議員講座	2/25	議会改革調査特別委員会（議会のIT化に関する調査分科会）
1/19	総務産業常任委員会	3/1～16	第1回定例会
1/21	黒川地域行政事務組合議会臨時会	3/1	議員全員協議会・広報広聴常任委員会
1/24	議員全員協議会	3/11	第13回議会改革調査特別委員会
	第12回議会改革調査特別委員会・小委員会	3/12	大郷中学校卒業式
1/31	第1回臨時会・議会基本条例に関する調査分科会	3/14	議員全員協議会・議会運営委員会
2/3	宮城県後期高齢者医療広域連合議会定例会		議会改革調査特別委員会（適正な議員定数に関する調査分科会）
2/8	黒川地域行政事務組合議会定例会	3/16	議会改革調査特別委員会（適正な議員定数に関する調査分科会）
2/9	教育民生常任委員会	3/18	大郷小学校卒業式
2/15	議員全員協議会	3/22	広報広聴常任委員会
	議会改革調査特別委員会（議会基本条例に関する調査分科会）	3/25	宮城黒川地方町村議会議長会委員長研修会
2/16	議会運営委員会	3/29	広報広聴常任委員会
2/21	宮城黒川地方町村議会議長会定期総会	3/30	議会改革調査特別委員会（議会のIT化に関する調査分科会）
2/22	議会運営委員会・宮城県町村議会議長会定期総会		議会改革調査特別委員会（適正な議員定数に関する調査分科会）

1/24 第12回 タブレット研修会



▲タブレットを使用したWeb講義・実技研修

適正な議員定数に関する調査分科会

開催日：3月14日 3月16日 3月30日

議会基本条例に関する調査分科会

開催日：1月31日 2月15日 2月24日

議会のIT化に関する調査分科会

開催日：2月25日 3月30日



3/11 第13回 各分科会からの報告

議会基本条例に関する調査分科会：
大郷町議会基本条例について協議検討
議会のIT化に関する調査分科会：
タブレット導入に関する協議

次回 定例会

予定 6月7日(火)から
午前10時～
6月10日(金)まで

ライブ中継と録画を動画サイト「YouTube（ユーチューブ）」にて、配信しています。下記のQRコードよりご覧になれます。



旧田布施・東沢団地 解体後の土地利用は

- ・現段階では何も考えていない。
(令和2年3月定例会
予算審査特別委員会 徹底検証より)
- ・旧町営住宅跡地(田布施・東沢団地)
等の今後をどのように考えているのか。

境界確定測量後、公売する予定。
(令和3年9月定例会
決算審査特別委員会 意見提言より)

その後の対応と今後の計画

町で管理する側溝や水路の管理用通路
等の分筆測量及び登記完了後に定住促進
用地または企業誘致用地として公売する
予定です。 財政課長



▲旧東沢団地

職員の健康推進を

- ・義務化となった職員のストレスチェックシステムを有効活用し、職場環境の改善、職員の健康推進に努められたい。
(平成28年3月定例会
予算審査特別委員会 意見書より)
- ・時間外勤務が多く、職員の負担が大きくなっている。職員の採用にあたっての見解を求める。

一般職員、資格のある技術職員がいる
が、適正配置に今後も努めてまいりたい。
(令和2年9月定例会
決算審査特別委員会 意見書より)

その後の対応と今後の計画

現職員自身のストレスに対する「気づき」の促進や、メンタルヘルス不調者の早期発見、職場単位でのストレス状況を把握し、職場環境の改善に役立てることを目的に、全職員がシステムを利用したストレスチェックを年1回継続実施しています。

また、令和2年4月から「職員のワークライフバランスの推進に関する指針」を制定し、時間外勤務の削減や計画的な年次有給休暇の取得に取り組んでいるところです。

行政職・技術職とも、退職者等の状況を勘案しながら採用し、会計年度任用職員を活用しながら、適正な人員配置に努めてまいります。

総務課長

教育民生 常任委員会

1/9

幼児教育の充実を



▲子どもの幸せが第一(こども園)

【調査の概要】

「すくすくゆめの郷こども園」になり、2年が経過。役場において町民課長と担当より説明を受け、質疑応答等により調査した。

【意見】

1. 令和2年度に4人の待機児童があったが、令和3年度以降は待機児童数の見込みはなく、今後も待機児童が出ないよう対応されたい。
2. 保護者要望をアンケート、連絡ノート、ご意見ボックス等で把握しているとのことだが、環境変化があっても、子どもの成長・幸せを一番願っているのは親であり、保護者である。保育・幼児教育の質の維持向上に努められたい。
3. コロナの影響で、子育て支援センターの利用者が大幅に減少しているとのこと。保護者の子育てへの不安や孤立感の高まりを防ぎ、子どもの健やかな育ちの支援のため、支援センターの認知度の向上、ニーズに合った事業内容をさらに工夫されたい。

次回は

「学校教育の
取り組み状況について」
を調査します。

総務産業 常任委員会

1/19

農業所得の向上を



▲農業従事者の方と将来に向けて

【調査の概要】

役場において、町内農業従事者の方々と、農政商工課課長補佐出席のもと現状の課題や問題等について調査を行った。

【意見】

1. 畜産(繁殖部門)に関して、キャトルセンター(子牛の哺育・育成や雌牛の繁殖・分娩等を集中管理するための共同利用施設)を各種団体と協議し設置に向け、調査・検討されたい。
2. 農業従事者不足の対策として、農業所得を上げるため、ケナフの栽培があるとの説明があった。高収益野菜の品目を数多く選定・検討し、栽培すべきである。
3. イノシシの被害が増加している。特に大松沢地区で増加している。これまでの対策では十分ではなく、対策を強化すべきである。
4. 山崎地区や羽生地区の再整備事業の受益者負担について、助成を継続されたい。
5. 米と牛肉以外での本町を代表する生産作物を生み出せるよう、調査・検討されたい。

次回は

「(株)おおさと地域振興公社の
活性化について」
を調査します。



大郷町剣道スポーツ少年団



学年が違う子どもたちが一つの目標に向かって活動できることです。また、卒業生が後輩の稽古に顔を出してくれることがうれしいです。

剣道の魅力は、

1名、中学生7名です。
 現在の団員数は、小学生
 始めて32年目を迎えました。
 てあげたいと思い、指導を
 でも剣道ができる場を作っ
 はじめたきっかけは。

指導者

千葉 芳浩さん

主藤 晃浩さん

(長崎)

指導者 千葉 芳浩さん



一緒にしてみませんか



心がけていることは。
 正しい剣道が身に付くように基本を丁寧に指導しております。最近、コロナウィルスの関係で思うように稽古できないことが残念です。
 最後に一言。
 剣道は段級位制がありますので、昇段・昇級することを目標にすることもできます。剣道に興味のある方は、いつでも見学に来てください。



毎週水・金曜日、
 午後7時からB&G
 海洋センターで行っております。

3月も過ぎ、大分暖かくなりました。庭の片隅に真黄色の花をつけた福寿草を見ると気持ちがあがります。黄色と言えば、ウクライナの国旗が黄色と青ですね。テレビのニュースを見ると涙が出ます。早く戦争が終わるのを願うばかりです。
 道の駅の西側駐車場にサルズベリと並んで、陽光桜の木18本が植樹されました。4月になれば満開になり綺麗だと思っています。

最後まで読んでいただけたら嬉しいです。

田中みつ子

編集後記

広報広聴常任委員会

委員長	佐藤 牧	副委員長	吉田 耕大
委員	田中みつ子	委員	熱海 文義
委員	和賀 直義	委員	若生 寛

「おおさとみんなの議会204号」が第41回県町村議会広報選考会において入選しました。



5年連続で受賞